

農林水産省登録
第23624号

少量注入でアメリカシロヒトリなどの
ケムシや吸汁性害虫を防除

殺虫剤／樹幹注入剤

ウッドスター[®]

ジノテフラン液剤



サンケイ化学株式会社



株式会社 エムシー緑化



三井化学
グループ

ウッドスター[®]はサンケイ化学株の登録商標です。

はじめに

街路樹及び公園等の防除実態に関して、環境省より発表された「自治体における街路樹、公園緑地等での防除実態調査結果」によると、街路樹、公園緑地における病害虫、雑草防除に農薬を使用している自治体は 95% であり、その殆どが農薬散布による防除を行っています。

一方、環境省発行の「公園・街路樹等病害虫・雑草管理マニュアル」によると農薬の散布に関しては厳しい指針が示されており、自治体によっては農薬の散布を控える場面もあります。

また散布に代わる使用法として、樹幹注入処理が挙げられています。紹介されている既存の樹幹注入剤については、散布時の薬液のドリフトの心配がなくなった点を中心に評価されているようですが、使用実態としては、薬害の発生や作業性（注入時間、容器回収等）、施工時（ボトル回収まで）の安全性確保の必要性など普及上の問題点が指摘されています。

ウッドスターは幅広い殺虫スペクトルを有するジノテフランを有効成分とし、公園、街路樹等の主要害虫に対して効果が認められ、各種樹種に対して影響も少ないことから、2012 年より林業薬剤協会の公的試験を実施し、幅広い殺虫スペクトルを有することが確認されております。

また既存樹幹注入剤の前記問題点を解決すべく、処理法等を工夫し、解決に至っております。本資料は今まで得られた知見をもとに、本剤の特徴を取りまとめたものです。本剤のご指導、ご使用時の参考としてご活用頂ければ幸甚です。

製品概要

登録番号：農林水産省登録 第23624号
(2015年2月18日新規農薬登録)

農薬の種類：ジノテフラン液剤

農薬の名称：ウッドスター

有効成分：ジノテフラン 8.0%

性状：淡黄色澄明水溶性液体

毒性：普通物
(毒物にも劇物にも該当しない
ものを指している通称)

使用方法：樹幹注入

有効年限：3年

規格：450mℓ×2本



ウッドスター®の特長



本剤は、極めて少ない注入量で処理時の注入性を向上することにより、注入作業を
時間短縮、大掛かりな散布器具や注入容器も不要で、省力化にお役立ていただけます。



極めて少ない注入量で、樹体への影響を最小限にとどめます。
これまで評価した樹木で、薬害が観察された事例はありません。



薬液の飛散・環境流出がない樹幹注入剤です。
有効成分ジノテフランは、人畜・魚類・鳥類に対して毒性の低い成分です。
急性毒性 (LD50mg/kg) : ラット (経口、経皮) > 2,000、ウズラ (経口) > 2,000
(TLm mg/L) : マゴイ (48hr.) > 1,000、ミジンコ (3hr.) > 10,000



本剤は、処理適期の1回処理で対象害虫の当年発生を抑えます。
少ない注入量でも薬液が樹体内に行きわたり効果を発揮します。



本剤を各種害虫発生前～発生初期に樹幹注入することにより、速やかに有効成分
ジノテフランが葉部へ行き渡り、公園、街路樹等の食葉性・吸汁性の主要害虫を中
心に優れた殺虫効果が得られます。

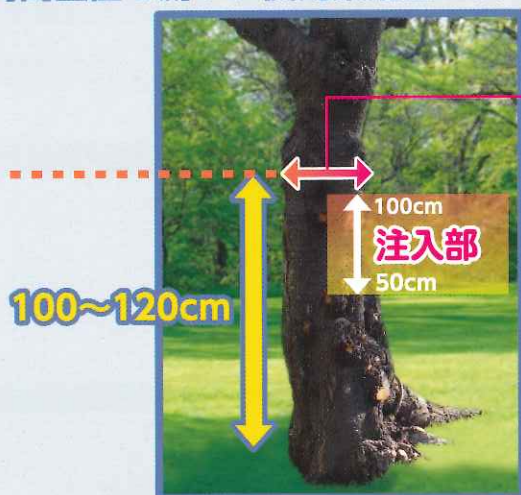
適用害虫の範囲および使用方法

2015年2月18日登録内容

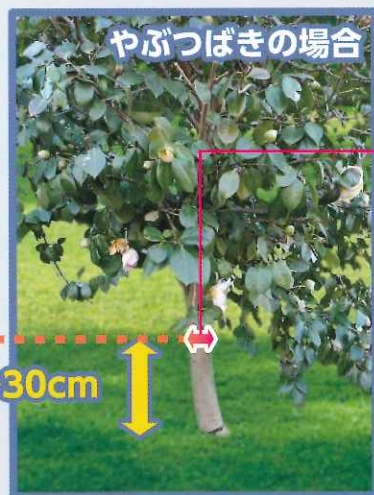
作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
さくら	アメリカ シロヒトリ	胸高直径 10cm～20cm: 12～24mℓ 20cm～30cm: 24～36mℓ 30cm～40cm: 36～48mℓ 40cm～50cm: 48～60mℓ 50cm～60cm: 60～72mℓ 以降、直径が10cm増す毎に12mℓを追加する	幼虫発生前 ～発生初期 但し 新葉展開後	3回 以内	樹幹 注入	5回以内
やぶつばき	チャドクガ	注入部直径 6cm～10cm: 2mℓ 10cm～20cm: 2～12mℓ 20cm～30cm: 12～18mℓ 30cm～40cm: 18～24mℓ 40cm～50cm: 24～30mℓ 50cm～60cm: 30～36mℓ 以降、直径が10cm増す毎に6mℓを追加する	幼虫発生前 ～発生初期			
プラタナス	プラタナス グンバイ	胸高直径 6cm～10cm: 2mℓ 10cm～20cm: 2～12mℓ 20cm～30cm: 12～18mℓ 30cm～40cm: 18～24mℓ 40cm～50cm: 24～30mℓ 50cm～60cm: 30～36mℓ 以降、直径が10cm増す毎に6mℓを追加する	新葉展開後			

使用方法と作業手順

① 胸高直径を測り、使用薬剤量を決める



胸高直径



注入部の直径

② ドリルで孔をあける



孔径7または10mm、
角度45°、深さ6~7cm
程度の注入孔をあけます。

◀ 各樹種の適正な位置(次項参照)に
ドリルにて注入孔をあけます。

③ 専用注入器で薬剤を孔へ注入する



※ 専用薬剤注入器の取扱方法は、薬剤注入器セット
(別売り)へ同封されている取扱説明書を参照の上
ご使用ください。

◀ 注入孔底近くまでノズルを差し込み、
薬剤を注入。緩やかにノズルを引き抜く。

薬剤注入器セット



組み立て後



アメリカシロヒトリ(さくら)の防除

★注入量と使用上の注意点

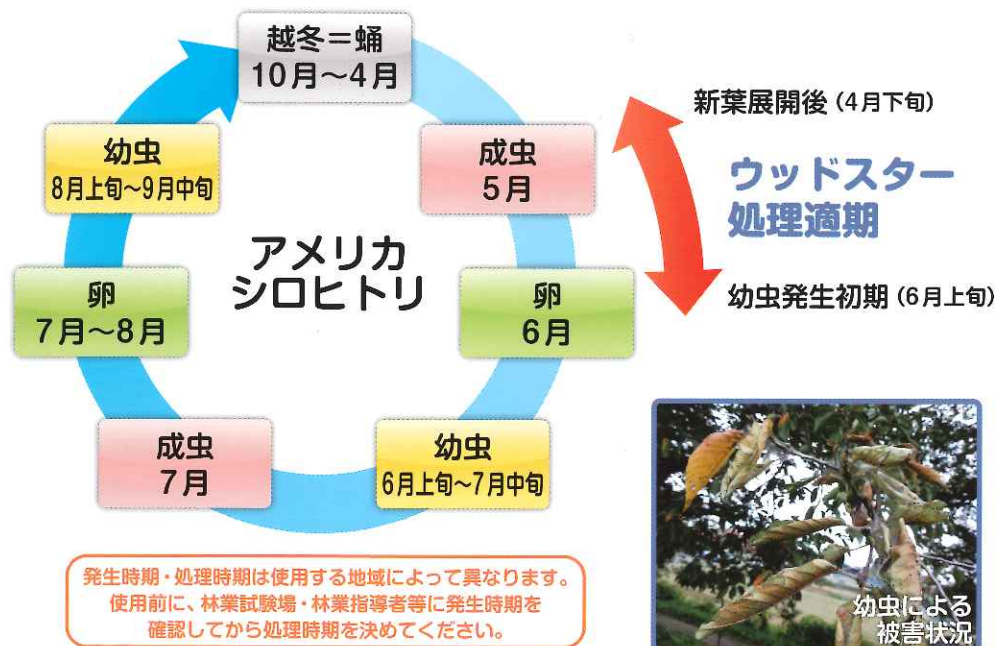
さくらにウッドスターを使用する場合の
注入量早見表

胸高直径	注入量	注入孔数
10～20cm	12～24ml	3～6
20～30cm	24～36ml	6～9
30～40cm	36～48ml	9～12
40～50cm	48～60ml	12～15
50～60cm	60～72ml	15～18
以降、直径が10cm増す毎に12mlを追加する		

アメリカシロヒトリ(さくら)にウッドスターを使用
する場合の注意点

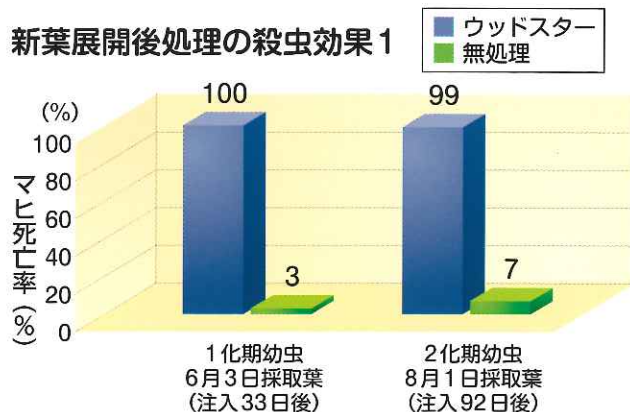
- 薬剤の注入部位は主幹部の地上高50～100cm程度を標準とします。
- 直径10mm、深さ6～7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当たり4mlを注入します。
- 落花終了後、新葉が十分に展開した後に注入してください。
- アメリカシロヒトリの幼虫発生前に注入することをおすすめします。

★アメリカシロヒトリの生態とウッドスターの処理時期



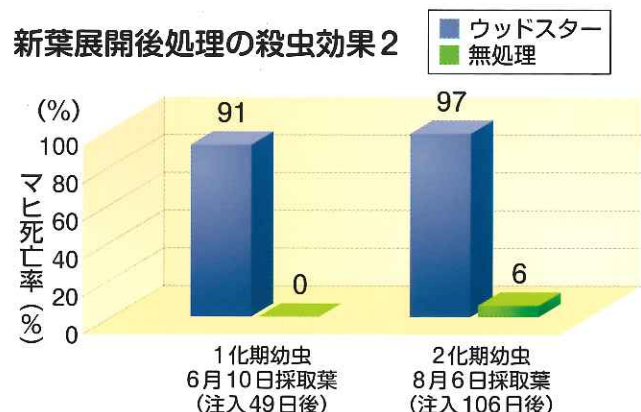
★アメリカシロヒトリの幼虫に対する効果 (平成25年度 林業薬剤協会試験成績より抜粋)

新葉展開後処理の殺虫効果1



試験場所：長野県林業総合センター
処理方法：2013年5月1日に胸高直径15cm程度のサクラにウッドスター16mlを注入した場合、放虫10日目の調査結果

新葉展開後処理の殺虫効果2



試験場所：岐阜県森林研究所
処理方法：2013年4月22日に胸高直径25cm程度のサクラにウッドスター32mlを注入した場合、放虫10日目の調査結果

チャドクガ(やぶつばき)の防除

★注入量と使用上の注意点

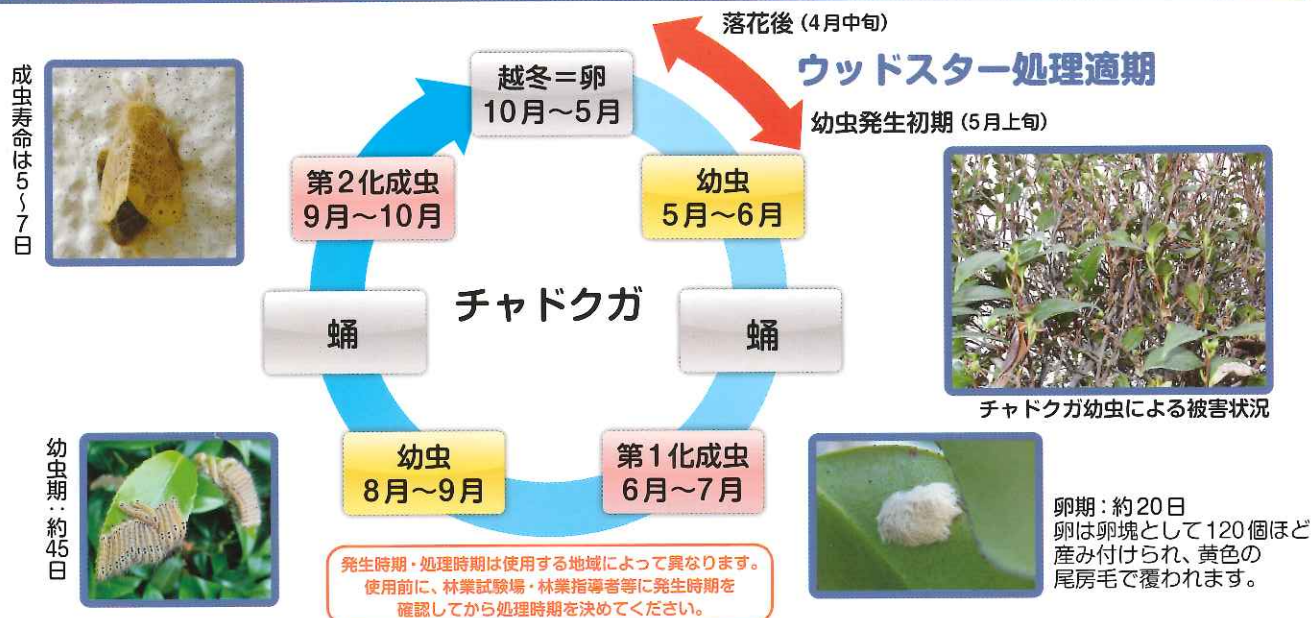
やぶつばきにウッドスターを使用する場合の
注入量早見表

注入部直径	注入量	注入孔数
6～10cm	2ml	1
10～20cm	2～12ml	1～6
20～30cm	12～18ml	6～9
30～40cm	18～24ml	9～12
40～50cm	24～30ml	12～15
50～60cm	30～36ml	15～18
以降、直径が10cm増す毎に6mlを追加する		

チャドクガ(やぶつばき)にウッドスターを使用
する場合の注意点

- 薬剤の注入部位は主幹部の地上高10～30cm程度を標準とします。
- 直径7mm、深さ6～7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当り2mlを注入します。
- 小径木に使用する場合は、適宜浅めの注入孔に、所定量を2孔以上に分散させてください。
- チャドクガの幼虫発生前に注入することをおすすめします。

★チャドクガの生態とウッドスターの処理時期



★チャドクガの幼虫に対する効果 (平成25年度 林業薬剤協会試験成績より抜粋)

注入処理111日後(8月19日)の処理樹の各調査部位における殺虫効果



試験場所：鹿児島県森林技術総合センター

処理方法：2013年4月30日に地際部直径13cm程度のツバキにウッドスター4mlを注入した場合、
放虫10日目の調査結果

プラタナスグンバイ(プラタナス)の防除

★注入量と使用上の注意点

プラタナスにウッドスターを使用する場合の
注入量早見表

胸高直径	注入量	注入孔数
6～10cm	2mℓ	1
10～20cm	2～12mℓ	1～6
20～30cm	12～18mℓ	6～9
30～40cm	18～24mℓ	9～12
40～50cm	24～30mℓ	12～15
50～60cm	30～36mℓ	15～18
以降、直径が10cm増す毎に6mℓを追加する		

プラタナスグンバイ(プラタナス)にウッドスターを
使用する場合の注意点

- 薬剤の注入部位は主幹部の地上高50～100cm程度を標準とします。
- 直径7mm、深さ6～7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当り2mℓを注入します。
- 落葉期や整枝剪定後の展葉初期には薬液が分散しにくいので、新葉展開後に注入してください。

★プラタナスグンバイの生態とウッドスターの処理時期



成 虫



幼 虫



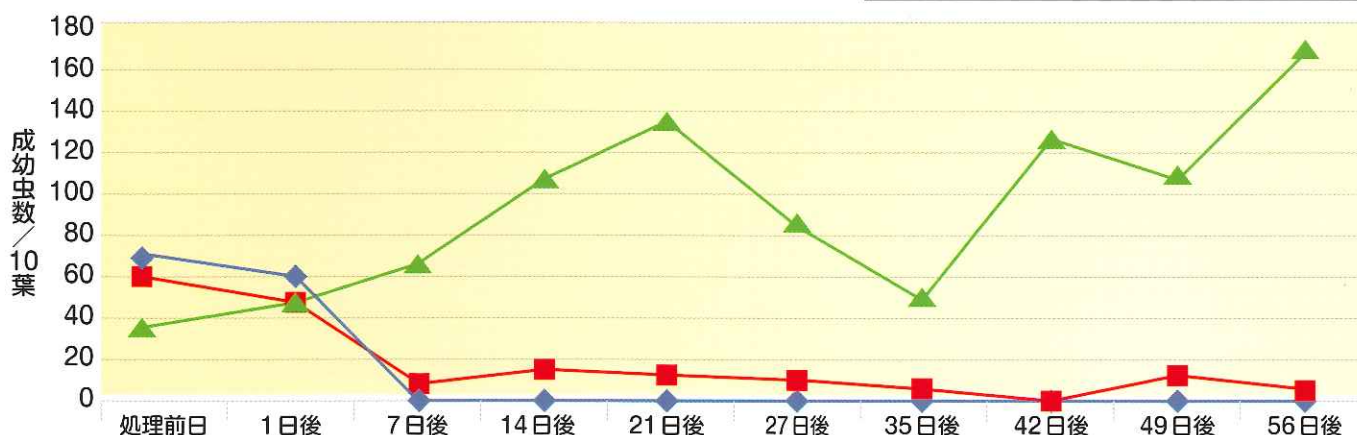
プラタナスグンバイ被害状況



★プラタナスグンバイの成虫及び幼虫に対する効果 (平成25年度 林業薬剤協会試験成績より抜粋)

注入処理56日後(8月9日)までの成虫及び幼虫に対する防除効果

◆ ウッドスター ■ 対照 A 剤 ▲ 無処理



試験場所：京都府病害虫防除所

試験方法：2013年6月14日(第1世代成虫と第2世代成幼虫の混在時期)に

胸高直径30cm程度のプラタナスにウッドスター 20mℓを注入した場合

使用上の注意事項

- ◆他剤との混用はさけること。
- ◆樹幹の胸高直径または注入部直径が適用表に記載のない小径木や樹勢の弱った木、空洞や腐朽がある木、極端な老齢木には使用をさけること。
- ◆薬剤注入孔は、ドリル等を用いて注入部位に斜め下方向に45度の角度で開けること。
- ◆対象木が二股以上に分かれている場合は薬剤が問題なく分散する様にそれぞれを1本の木と見なして所定量を注入すること。
- ◆さくらに使用する場合は以下の内容に注意すること。
 - ①薬剤の注入部位は主幹部の地上高50～100cm程度を標準とすること。
 - ②直径10mm、深さ6～7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当たり4mℓを注入する。
 - ③落花直後や展葉初期には薬剤が分散しにくいので、落花終了後の新葉が十分に展開した後に注入すること。
 - ④アメリカシロヒトリの幼虫発生前に注入することが望ましい。
 - ⑤花、葉、果実は食用に供しないこと。
- ◆やぶつばきを使用する場合は、以下の内容に注意すること。
 - ①薬剤の注入部位は主幹部の地上高10～30cm程度を標準とすること。
 - ②直径7mm、深さ6～7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当たり2mℓを注入する。
 - ③小径木に使用する場合は、適宜浅めの注入孔に、所定量を2孔以上に分散させること。
 - ④チャドクガの幼虫発生前に注入することが望ましい。
 - ⑤種子は食用に供しないこと。
- ◆プラタナスに使用する場合は、以下の内容に注意すること。
 - ①薬剤の注入部位は主幹部の地上高50～100cm程度を標準とすること。
 - ②直径7mm、深さ6～7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当たり2mℓを注入する。
 - ③落葉期や整枝剪定後の展葉初期には薬液が分散しにくいので、新葉展開後に注入すること。
- ◆ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ・開花期はミツバチ等に影響を及ぼすおそれがあるので、落花終了後に使用すること。
 - ・養蜂が行われている地区や受粉等を目的としてミツバチ等を放飼している地区で使用する場合は、関係機関（都道府県の畜産部局や病虫害防除所等）への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めること。
- ◆本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬剤が付着すると変色するおそれがあるので、こぼさないように注意すること。
- ◆本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は林業関係機関、林業技術者等の指導を受けること。

安全使用上の注意事項

- ◆街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ◆直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく冷涼で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。

使用前にはラベルをよく読んでください

ラベル記載以外には使用しないでください

小児の手の届く所に置かないでください

【製造・販売】

サンケイ化学株式会社

本

社

鹿児島市南栄二丁目9番地

☎(099) 268-7588

東京営業部

埼玉県深谷市幡羅町1-13-1

☎(048) 551-2122



株式会社 二チノー緑化